

The University Times

August 2011 Vol. 13

<http://jtimes.jp/utimes>

produced by IELTS by STEP × The Japan Times ©THE JAPAN TIMES, LTD. 2011

CONTENTS

■ Visit a Global Company : グローバル企業訪問 株式会社エイチ・アイ・エス 1 2	■ Journalist's Eye : 英字新聞記者の視点 「節電」 / 「放射線測定」 3	■ Shu-katsu Counseling : 就活の不安を解消しよう 来期の就活ガイドライン 5	■ IELTS : テスト対策 スピーキング対策のコツ 7
■ English for Careers : 就活英語を学ぼう 英文履歴書の書き方② 4	■ University's Challenge : 国際交流に取り組む大学 日本女子大学の留学支援 6	■ News in English 英文記事を読んでみよう 8	

Visit a Global Company : グローバル企業訪問

ベンチャー企業から 世界で 1000 店舗を目指す 日本有数の旅行会社に

Vol. 3 株式会社エイチ・アイ・エス

若者の海外旅行離れが叫ばれて久しい昨今。株式会社エイチ・アイ・エスは従来のビジネスに加え、海外での顧客獲得にフィールドを広げようとしている。そんな同社が求める理想の人材とは？

現代表取締役会長の澤田秀雄氏が、20代の時に旅行ベンチャービジネスを立ち上げてから30年。海外へ旅立つ人の約5人に1人が利用している株式会社エイチ・アイ・エス(以下、H.I.S.)。今年3月には月間売上で国

内最大手のJTBを超えるまでに成長した。現在、H.I.S.はさらなる飛躍を遂げるために「1000店舗計画」を推進している。現在の店舗数は、国内に約270店舗と、海外に115店舗。今後5年の間に600店舗もの開

設を計画しており、特に海外への出店を強化している。なぜ、店舗数を増やす必要があるかという、これまでインバウンド機能^{*1}が主だった海外拠点に、アウトバウンド機能^{*2}を持たせるため。H.I.S.は日本での格安航空券販売やツアー販売を手がけて大きくなったが、これからは、外国人を日本やそれ以外の外国へ送るクロス送客ビジネスを強化しようとしているのである。

「インバウンドビジネスは日本人のお客様を現地で受けるのが主なので、雑居ビルの中に電話があれば仕事はできます。しかし、アウトバウンドビジネスは、現地の目立つところに店舗を構えたり、広告展開やオンラインで商品を販売していく必要がある。もちろん、海外のアウトバウンド店で働く優秀な人材も600店舗分必要としているのです」

こう語るの、人事部グループ採用チームのチームリーダー小林強一さんだ。

「すでに国際化は進んでおり、現在の当社採用の1割が外国籍になっています。また、現地でローカル採用した外国人スタッフの中で優秀なマネジメントができる者は日本で研修を受けさせたり、活発な交流を始めています」

1000店舗計画を踏まえた上で、H.I.S.はどのような人材を求めているのだろうか。

「活躍している社員はみな、周囲を巻き込む力が強い。一人で事業はできません。コミュニケーションを通じて、人の力をいかに借り



本社人事・総務本部 人事グループ 採用チーム チームリーダーの小林強一さん

るかが重要になってくる。こと海外においては、宗教観や歴史観や文化に違いがあるので、現地の人間を強く巻き込んでいく、国際的なコミュニケーション能力がより重要になると考えています」

国際的なコミュニケーション能力というと、例えば語学。英語が話せるというのは？

「英語が話せるというのは武器にはなりますが、あくまでも武器にすぎません。抽象的な話になりますが、採用時には過去の経験に基づく挑戦心を見ていきたいです。『入社してこんな仕事がしてみたい、その上で言葉を使えるのが強みです』という方を採用したい。また、これまでの旅行ビジネスにはないような、斬新なアイデアを見出ししてくれる方を常に求めています。そのため、採用基準に語学の最低ラインは設けておりません。もっとも、最近の学生は『英語ができない』という方でも、私たちの学生時代に比べると英語のレベルは高い。ちょっとした努力があれば、英語力は伸ばすことが可能だと思います」

まずは国内でキャリアを積むことから

とはいえ、H.I.S.に入社すればすぐに海外で仕事ができるわけではない。

「新卒採用者は基本的に国内の営業部門からのスタートです。営業の仕事は主に5つ。B to Cのレジャー旅行の販売、いわゆる店舗営業での仕事に加え、電話のコールセンター、オンライン、法人営業、団体旅行の部門があります。まずはそこで営業目標を達成しながら、キャリアを積んでいただきます。現在の営業所長は若い社員だと入社4~5年目の20代後半、そこでのマネジメント経験を経て海外に行ってもらおうことが多いです。最近



日本有数の旅行会社に成長した株式会社エイチ・アイ・エス。本社採用の1割が外国籍になるなど国際化も進んでいる

Visit a Global Company

グローバル企業訪問

の学生は海外赴任の確約を求める方が多いと感じるのですが、弊社には海外に行けるチャンスはたくさんあるものの、必ず行けるというわけではありません。まず、競争を勝ち上がってください」

最後に、小林さんからこれから就職活動を行なう学生にアドバイスをもらった。「企業研究が中途半端な方が多いように感じます。すぐ目につくところに店舗があるのに、WEBだけですべてを知った気になり、店舗す

ら訪れたことのない方がいたりする。面接時に『この時勢だと、どんな企業が転ぶかわからない。なぜ当社はつぶれないと思ったのですか?』と意地悪な質問をしたりするのですが、ちゃんとしたロジックがある学生も少ない。IRなどを見て、面接で企業の強みがしっかりと見えれば光ると思いますよ。自分の将来に対して真剣に向き合っているのであれば、そういった行動は取れると思います。

最近では、面接に受かるために質問の内容

を考えたとか、受け答えや、エントリーシートの書き方などに注力し、その会社で何をしたいかがしっかりしていない方が多い。その部分を、自分の足を使って情報を集め、自分の目で見て感じて、自分の頭で考えて、就職活動をしてほしいですね」

- ※1 インバウンド機能……世界各国から訪れた人に対し、現地滞在中のサポート、ホテル、オプションツアーなどの手配や、緊急時のケアなどを行う機能。
- ※2 アウトバウンド機能……現地から世界各国へ旅行する人に対し、旅行券やツアー販売を行う機能。新規店舗開発から、仕入・販売ルートの開拓、商品企画に至るまで、現地に即したビジネスプランを立てる。



株式会社エイチ・アイ・エス

1980年、前身となる株式会社インターナショナルツアーズ設立。旅行業界のベンチャー企業としてリーズナブルな海外航空券の販売からスタート。1990年に社名を現在の「株式会社エイチ・アイ・エス」に変更。現在では、海外出張や団体旅行、他社と自社ブランドのパッケージツアーなど幅広く扱う総合旅行代理店に成長し、設立30周年を迎えた現在、国内営業所は270、海外の拠点は115を数える。特に海外旅行の取扱高では、国内の旅行会社ではトップ(2011年4月分、観光庁資料より)。昨年、子会社化したハウスステンス株式会社をはじめ、関連会社も多数。<http://www.his-j.com/>

グローバル企業の先輩に聞く!

大切なのは言葉だけでなく文化も学ぶこと

簾藤 眞太郎 さん

株式会社エイチ・アイ・エス
海外営業本部海外営業戦略グループ
グループリーダー



1997年入社。営業店勤務、システム開発部を経て2005年からタイ・バンコク支店で3年間勤務。現在は海外営業本部海外営業戦略グループのグループリーダーを務めている

Q. お仕事の内容を教えてください

A. H.I.S.は1000店舗計画を進めており、これからさらに海外への出店を増やしていく予定です。海外に関するすべての案件を取り扱うのが私の部署なので、海外への出店計画を推進しています。この1、2年だけでも、いろいろな国籍の方と仕事をしました。ロシア人、ウイグル人、インドのアウトバウンド店の店長はネパール人ですし、現在はケニアに拠点を作ろうとしており、スタッフはケニア人です。出店計画以外にも、直近では、フェイ

スブックで海外拠点のファンページを作成したり、フラッシュマーケティングの海外展開、さらにはPontaカードとコラボレーションしてソウルでの買い物で割引され、ポイントも加算されるシステムの導入などを行いました。

Q. 入社時から現在の部署なのですか

A. 1997年に入社し、最初は新宿高島屋の前にあるトラベルワンダーランド新宿店で3年間営業を経験しました。2000年にシステム開発グループに移り、2005年からはタイのバンコク支店に赴任。2008年に帰国し

て本社に戻り、Eビジネス事業グループなどを経た後で現在の部署に配属されました。タイではインバウンド業務の責任者をしており、お客様がいらっしゃったときのゲストリレーション、バスやガイド、ホテルの手配、ホテルを仕入れて日本に卸したりするのが主な業務でした。

Q. 海外赴任時に苦労はありましたか

A. 転勤を告げられたのが、わずか1カ月前。タイは学生時代に一度しか行ったことがないし、タイ語どころか英語もしゃべれない。英語を覚えるか、タイ語を覚えるか、どちらがよいかすら分からない。とりあえず、タイ語をどうやって勉強すればよいかも分からないので、現地に行くまでの1カ月間は英語を勉強しました。ですが、タイ人は日本人と同じく英語が苦手で、英語でコミュニケーションを取ろうとしても、私も英語が下手だし、向こうも英語が下手で話が全然かみ合わないのです。

バンコク支店のスタッフも、100人中、日本人が3人だけで残りはすべてタイ人。そのうち英語ができる方が半分くらいで、日本語が分かるのは10人程度。タイ語が使えないとどうしようもない環境だったので、平日は日本語ができるタイ人スタッフに付いてゲストリレーションの仕事しながら言葉を教わり、休日はプライベートレッスンに通って、2カ月でコミュニケーションに困らない程度には上達しました。9カ月くらい経つと、ホテルの営業マンやオーナーの友人ができて、一緒に飲みに行ったり、リゾートに遊びに行ったりするくらいになりましたね。タイ語を話せる日本人が少なかったので、「一生懸命にしゃべろうとしている姿」に好感を持ってもらえた面もあったと思います。

Q. 海外での仕事で大切なことは

A. 言葉を覚えるのと同じくらい大切なのは、文化を知ることだと思います。たとえばタイは温暖な国で、みんなニコニコしていて、



タイ勤務時は波乱続き。赴任日の前日にスマトラ沖地震があり、軍事クーデターやテロも起こった。現地の正確な情報を日本に伝えるため、常にビデオカメラを持っていたという

のんびりしているんですよ。不手際があっても日本人のお客さんが怒っているのに、タイ人のガイドはほほ笑みながら「マイペンライ(問題ない。大丈夫だ)」なんて言っている。その笑っている姿を見て、さらに日本人のお客さんが怒るといったような。タイのそういった気質を知るまでは、私も「何で笑っているんだ!」ときつい口調で怒ったりしたことがありました。でも、それではあまり上手いかわりません。現地の言葉を覚えて、現地の文化を知り、その上で「日本人はこのように感じるんだよ」と教えていかないと、相手もなぜ怒られているかが分からないですから。

Q. 学生へアドバイスをお願いします

A. H.I.S.には「たとえ失敗しても、チャレンジをすることが重要」という社風があります。社員たちも失敗することをあまり考えません。成功するまでやり続けるという気持ちが強いからです。弊社に限らず、恐れずに何かにチャレンジすることは、すごく大切な要素だと思います。そして、これからは英語などの外国語を学ぶことも重要になります。H.I.S.に入社すると、将来的には海外店舗に赴任する可能性も高いですし、他の会社に就職しても海外との取引は避けられないものになってくるはずです。学生のうちに語学を学び、海外に旅行して見聞を広めてください。

簾藤さんのお仕事アイテム拝見



タイにいたころはヤードムが欠かせませんでした。タイは暑い国ですが、これを鼻につけて吸うとハッカの成分が鼻に入って、スーッと涼しくなるんです。タイ人のタクシー運転手には、これを両鼻に差して運転している人がいるくらいです(笑)。

Journalist's Eye

英字新聞記者の視点

日本のニュースを英語で発信しよう！

英字新聞 The Japan Times 記者が語る
日本の「今」を世界に伝えるための心得

—— Vol. 3 by Minoru Matsutani

日本で起こっていることを外国人に伝える時に必要なのは、英単語の知識や会話力だけではない。物事の背景を理解し、それを外国人にわかりやすく説明するスキルが求められるのだ。このコーナーでは、英字新聞 The Japan Times の記者に登場してもらい、記事をより深く理解し、自ら説明できるようになるためのコツを教えてもらう。第3回は、この夏気になる節電や放射線的话题を、松谷実記者にうかがった。



節電が求められている今年は記録的な猛暑

KYODO PHOTO

■日本の節電は行き過ぎ！？

- Cutting power at night maybe overdoing it. To avoid blackouts, consumption needs to be cut only at peak times, which in the summer is between 1 p.m. and 4 p.m. weekdays.
- 夜の節電は行き過ぎかもしれない。停電を防ぐには、夏の間、平日午後1時から4時の間のピークの時間帯だけ電力消費を減らせばよいのだ。

今年の夏は節電が大切だと言われていますが、政府や東京電力の広報活動によると、まるで一日中節電することが奨励されているかのように思えます。夜になると街の照明は消え、「節電」が理由で花火大会が中止になったりしました。

しかし、節電が電力不足による停電を防ぐために行われているとしたら、節電しなければならないのは、電力消費量がピークを迎える昼間の一時だけで、夜は

節電する必要はないのではないか。そう考えて、電力消費量に関する取材を始めました。

ピークは平日午後1時～4時

専門家による節電に関するシンポジウムなどに参加してみたところ、「電力消費のピークは平日の午後1時～4時。ここを乗り切ることができれば、後の時間帯は問題がない。極端な節電をして、普段

の生活を犠牲にする必要はないのではないか」ということでした。

経済産業省が「15パーセントの節電」という目標値を大きく打ち出しているので、企業でも家庭でも「15パーセント」節約することに夢中になっているようですが、経済産業省に問い正すと、「平日の午前9時から午後8時の間、昨年のピーク時に比べ、15パーセント低く」という意味だとのこと。夜中や週末に節電をして全体に15パーセント減らすことができても、停電防止に対する効果はありません。

例えば、トヨタ自動車が平日の電力消費量を抑えるため、7月から9月の間は土日出勤、木金休みの週休2日としていますが、これは非常に意味のあることだと思います。平日の電力消費量を抑えれば、確実に停電の恐れが少なくなりますから。

節電したがる日本人の心理

なぜこうも極端に節電したがるのか、その理由について消費者心理の専門家は「『あの会社は節電していない』と思われるのが嫌なのだろう」と語っています。

経産省の電力・ガス事業部によると、「1時から4時と節電の時間を区切ると、4時を過ぎると一斉に電気を使い始めるようになり、それが停電につながるかもしれない」ので、あえて時間は強調していません。また、四六時中節電していることで、結果的に午後1時～4時のピーク時の電力消費量も減ってくるのではないかと、という専門家もいます。

結局、節電そのものは悪いことではないのですが、無理をしたり体を壊したりしてまで、夜に節電しなくてもいいということは、覚えておいていいかと思います。

■自己流の放射線測定は危険？

- Leave radiation checks to experts. Ordinary citizens should ask municipalities to check radiation level of places they are worried about.
- 放射線測定は、専門家にまかせよう。一般市民は、懸念される場所の放射線レベルの測定を、自治体に依頼すべきである。

最近、一般の人たちが自分で放射線測定器を入手して、「うちの庭の放射線量の数値はこんなに高い」と、ブログに書き込んでいたりするのをよく見かけるようになりました。一方で、専門家の多くは、「福島原子力発電所とのその周辺のエリア以外では、現在の数値は問題ない」として、「いったいどちらが正しいのか」と疑問に思った人も多いと思います。

問題は、放射線量の正しい測定には、一定の条件が必要となること、また安価に購入できるような放射線測定器だと、大きな誤差が出ることも珍しくなく、一般の人が正確な放射線量を把握するのは難しい、ということにあるようです。

精度の高い機械が必要

放射線は、毎日もしくは1日おきごとに、決まった時間に決まった場所で、地面か

ら一定の高さで測定する必要があります。そうしないと、その数値が、本当に人体に影響があるものかどうか、わからないのです。放射性物質の粒子は風に乗って移動し、地表に落ちるので、地面近くと地表高いところで測った結果では、大きく異なってくることもあります。現在専門家は、地表1～1.5メートルの場所で計測するのがよいとしているそうです。

また、大型の高価な放射線測定器が、小さいものよりも精度が高いのはもちろんですが、公共の機関で使われているものは、少なくとも1台数百万円程度です。専門家によると、3万～10万円程度で売られているものは、「おもちゃにすぎない」とのことです。

計測は自治体に依頼すべき

では、どうすればいいかというと、一

般の人は、放射線量の計測を地元の自治体に依頼するのが一番です。今現在行われていなかったら、実施してくれるように働きかけるといいようです。計測により高い値が出た場合、砂場の砂を入れ替えるとか、校庭の表面の土を削り取るといった作業は、いずれにせよ自治体の仕事になります。

政府や東京電力は秘密主義で、正しい値を発表していないのではないかと、言う人もいますが、水や野菜に基準値を超える放射線量が測定された際など、比較的早い段階で発表が行われていたと思います。放射線量の測定は、測ってすぐに出すのではなく、一定の経過を経てから

でないと正確な情報として発表することができないという専門家もいます。政府が信用できないから自分で測るというのではなく、実際自分に何かできて何ができないのか、冷静に判断することも必要ですね。



放射線は一定の高さで、毎日同じ場所で測ることが大切 KYODO PHOTO

●今月の記者●

松谷 実さん
MINORU MATSUTANI2007年ジャパンタイムズ入社。
捕鯨・イルカ漁問題、外食産業、
震災後の原子力事故など、幅広く
取材を行っている。

English for Careers

就活英語を学ぼう

第3回

英文履歴書の書き方②

by 株式会社アイベック スコット・シーリー、植草 良将

今回は、レジュメの最後に記入する職歴欄の書き方を取り上げます。これでレジュメについての不安はなくなるのではないのでしょうか？ さらに、推薦状を書いてもらう場合のポイントもご紹介します。

職歴はできるだけ具体的に

今回はレジュメの構成内容のうち、応募目的、プロフィール、学歴、賞・奨学金までをご紹介します。今回は職歴を書く際の注意点についてご紹介します。

- ・新卒の場合は、二つ程度のアルバイト経験を書く。職責についても箇条書きで書いておくと、少し脚色してもよい。
 - ・売上をどれだけ上げたのか、スタッフを何人管理したのかなど、具体的な数字を盛り込む。
 - ・業務内容は抽象的な表現を避ける。何をどのようにしたこと、以前と比べてどのような実績をあげたのか、といったように可能な限り具体的に書く。
 - ・うまくいかなかった経験でも、その後工夫して結果を出すことができた、というような、良い面にフォーカスした表現で書く。
- ポイントは、できるだけ具体的に書くということと、マイナスのことでプラスの視点で書くということです。これらをしっかり押さえておきましょう。

推薦状とは

推薦状 (recommendation letter) は、日本では一般的ではありませんが、欧米では大学院入学や就職の際によく使われるものです。推薦者のことを照会先 (reference) といい、履歴書に連絡先を書いておきます。欧米では、応募先の企業や大学が照会先に連絡を取ることもありますので、依頼は慎重にしなければなりません。

推薦状を依頼する際は

推薦状は必須ではありませんが、同封すると選考でのプラス材料となります。卒業す

る際や勤務先を辞める際には、その時すぐに必要でなくても、教授や上司に推薦状を書いてもらうとよいでしょう。何年も経つと忘れられてしまう恐れがあります。ただでさえ多忙な教授や上司ですから、推薦状は早めに依頼しましょう。

推薦状は、書いた人もその責任を負うことになるため、引き受けてもらうのが難しい場合もしばしばあるようです。欧米では、推薦状のひな型を持っている人が珍しくなく、依頼するとすぐ書いてくれることもあります。

一方、日本で英文推薦状のひな型を持っている人は必ずしも多くないと思われるため、日本で英文推薦状を依頼すると、なかなか引き受けてもらえないこともあるでしょう。しかし、自分で英文推薦状の原稿を書けば、それに署名してくれる人もいますので、自分のひな型を作っておきましょう。右の例を自分なりにアレンジし、ネイティブにチェックしてもらうとよいでしょう。

英文推薦状作成の注意点

英文推薦状を書くときは、次のポイントを押さえましょう。

- ・自分の性格ではなく、能力に焦点を絞る。
- ・業績や長所を強調する。
- ・具体的な例を引用する。
- ・本文では、できるだけ強い推薦の言葉を先に書く。次に、可能な限り、具体的な推薦の理由を挙げていく。
- ・すべて左詰めで書くのが一般的な形式。

一般的な推薦状の構成は①日付、②頭語、③本文、④結語、⑤署名となります。右の例文は英文履歴書と推薦状の具体例です。推薦状は、大学の先生に書いてもらったという設定です。

職歴

Work Experience (職歴)

XX DEPARTMENT STORE, GINZA, JAPAN

Sales Advisor (June 2009 – June 2011)

- ・ **Responsible for** determining customer needs and advising them on their purchases.
- ・ **In charge of** the store in the absence of the store manager.
- ・ **Responsible for** dealing with complaints and providing satisfactory solutions for unhappy customers.
- ・ **Responsible for** coordinating and supervising a team of sales assistants.
- ・ **Responsible for** handling money on the premises.
- ・ **In charge of** merchandizing stock to make it appealing to the customers.

Responsible for...

職歴を書く場合の決まり文句です。for の後は名詞か、動名詞です。

In charge of...

これも職歴を書く場合の決まり文句です。of の後はや

はり名詞か、動名詞です。

ニュアンスは異なりますが、業績を表す動詞としては、Accomplished (達成した)、Achieved (達成した)、Enhanced (強めた)、Established (構築した)、Improved (改善した)、Resolved (解決した) など効果的です。

推薦状

July 30th, 2011

To whom it may concern, (頭語)

It is my privilege to write you a letter of recommendation for Mr. Takeshi Ogawa, who has been working with us since June 1st, 2009 as a mathematics instructor at ABC University.

While working he is very professional at all times and was very popular with the students. He is **not only very skillful but also enthusiastic**. He is **one of the best** teachers at our mathematics class. He is **very capable and efficient** in executing tasks required of him, and also he often works on his own initiative.

His teaching skills are very effective. Therefore, the students that Mr. Ogawa teaches enjoy his lessons very much. Because of this, their mathematical level and ability improved very quickly.

Mr. Ogawa is **always punctual, well dressed, polite and very professional**. He **takes his work very seriously** and I am sure **he can achieve anything** he puts his mind to.

I offer Mr. Ogawa my highest regards and recommendation. I am sure that his professional attitude and enthusiasm make him a great person. It would be beneficial both to you and to the clients in the future.

Yours faithfully, (結語)

(手書きの署名)

Taro Yamada, Ph. D. (タイプした署名)

Assistant Professor
ABC University

To whom it may concern

特定の宛名が分からない場合に使います。

not only very skillful but also enthusiastic

「技能と情熱を持ち合わせている」という点は、評価されます。

one of the best

「最高の (スタッフの) 一人」という表現は、本当と思われまので、効果的です。

very capable and efficient

有能なことを売り込みます。

always punctual, well dressed, polite and very professional

「時間を厳守し、服装がきちんとしていて、礼儀正しく、プロフェッショナル」という、社会人として不可欠な要素が述べられており、ポイントが高いと思われま。

He takes his work very seriously

仕事に対する真剣な態度を伝えます。

he can achieve anything

「この学生ならできる!」と面接官に思わせま。

今回は英語面接の受け方についてご紹介します。

PROFILE

スコット・シーリー (Scott Seeley)

コーネル大学 (ニューヨーク) で修士号 (心理学) と学士号 (生物学) を取得。英語学校マネージャーを経て、株式会社アイベック講師ビジネスライティングトレーニングマネージャー兼採用担当マネージャー。日本語と英語のバイリンガル。多数の企業より指名を受け活躍中。



植草 良将 (Yoshimasa Uekusa)

東大文学部卒業。東大大学院人文社会系研究科修士課程修了。専攻は言語学。英文 E メールライティングなどの学習指導・教材開発を手がける。実用英語技能検定 1 級。趣味はヴェータとサンスクリット語。修士論文のテーマはインド・スリランカのタミル語。



世界基準のビジネス英語能力テスト

BULATS

The Business Language Testing Service

世界約47カ国1,172団体、
日本でもすでに350以上の企業・団体が採用

詳細は www.eiken.or.jp/bulats

お問い合わせ tel 03-3266-6366

mail stepbulats@eiken.or.jp

世界と繋がるために

Are you sure your message is getting through?

BULATS

Fast, reliable,
and global

Shu-katsu Counseling

就活の不安を解消しよう

ブンナビ編集長の就活相談ABC

文化放送キャリアパートナーズ 玉造 剛

間もなく夏休み。大学3年生は、そろそろ就職について考えなければいけないと、不安を感じている人も少なくないかと思えます。はっきり言って就職活動は大変です。ですが、やらなければならないことは決まっています、それに対する準備や心構えができていれば、ことさら焦る必要はありません。せっかくの夏を楽しむためにも、本コラムをぜひ参考にいただければ幸いです。

【今月の質問】
第3回 就職活動に漠然とした不安を抱いていて、一体何から手を付けたらいいのかわかりません。

不安解消には具体的な数字を知ることから

ここ数年の採用状況を見てみると、メディアでは「超」就職氷河期の文字が躍り、卒業生たちからは「すごく厳しい」という声が聞こえてきます。これでは不安になるのも無理はありませんし、ほとんどの学生が同じような精神状態だと思います。

では、その不安はどこからくるものなのでしょう？ 就職サイトにエントリーして、エントリーシートを書き、面接するというおおまかな就職活動の流れについては多くの人がすでに知っていると思います。しかし、具体的にどのくらいの数の企業にエントリーすればいいのかを分かっている人、または教えてくれる人はほとんどいないと思います。この数字が漠然としているために、一体どこまで走り続ければいいのか、ゴールがまったく見えないのです。やってもやっても不安で、なかには心が折れてあきらめてしまう人も…。ただ、就職活動は毎年行なわれていますので、変わらない部分というのが当然あります。ここ数年の就職活動

の傾向から、ボリューム感の目安というものをまずは知っておきましょう。

1月～3月は怒とうの毎日

例年は10月1日にスタートしていた企業の採用活動ですが、2013年入社採用活動は2カ月遅くなり、就職サイトは12月1日にオープンします。これは就職活動の早期化は正を目的とし、日本経団連の採用活動の方針を示すガイドライン「採用選考に関する企業の倫理憲章」が見直されたためです。

さて、就職サイトのオープンとともに企業のエントリー受付が始まるのですが、今年3月に卒業した2011年卒生では、平均95.6社とほぼ100社近い企業にエントリーしています(表1)。もちろん、ただ多ければよいというものではありませんが、まずエントリーをしないことには、企業からの説明会の情報なども届きませんので、ある程度の数を確保しておくことが重要になります。

そして年が明けると、学年末試験が終わる1月末～2月の後半にかけて、企業は会社

説明会・セミナーを一斉にスタートさせます。平均的な参加状況は、誰もが参加できるオープンセミナーで25社、選考セミナーでは15社程度。重複しているケースを考慮すると、20～30社くらいの説明会には足を運ぶこととなります。さらにはこれと同時に、平均で25社のエントリーシートを書き、SPI試験やWebテストの受験などが3月中旬まで続きます。これらの手順を踏んで、4月からの一次面接に望めるのが14社程度です。

1月から3月にどういった状況になるのかということをご想像してみてください。土日関係なくスーツを着て、毎日のように企業の説明会に足を運ぶことが予想されます。そして家に帰れば、エントリーシートを書かなければいけません。25社それぞれに、志望動機を考え、自己PRを練り上げて、一枚一枚丁寧に仕上げなければいけなくなると、とにかくやることは山積みです。もし筆記試験の勉強を年明けからやろうと考えていたら、とても手が回りません。

まとめると、12月くらいまでに筆記試験対策や企業研究・志望業界の絞込みにある程度めどをつけておき、年明けからの怒とうの毎日に十分備えておくことが必要です。やるべきことがはっきりすれば、漠然とした不安からは抜け出すことができます。逆に言えば、不安がっている時間はほとんどありません。

OB・OG訪問はぜひとも活用を!

将来やりたいことがわからないという人は、今のうちからインターンシップに参加したり、社会人と会ったり、そういった機会を積極的に

に作ることをお勧めします。そこで受けた刺激から、どう心が動いたのか、感動したのかを分析していくことで、自分の中で志望する業界・職種などが見えてくるはずですよ。

中でもOB・OG訪問は、企業の本当の姿や雰囲気を知ることでできる唯一の場です。その企業の社員に、そこで活躍している人のタイプを聞くだけでも、求められる適性や仕事に望む上でのマインドを知ることができるので、その後のエントリーシートや面接で必ず生きるはずですよ。これまでであれば、学生は4～5名のOB・OGを訪問しているようですが、今年からは就職活動のスタートが遅くなることもあり、より早い時期に生の企業の話聞くことのできるOB・OG訪問の重要性はより増していくことでしょう(表2)。

この夏休みは、意識して新聞や経済誌に目を通し、本格的な就職活動を前に社会に対する視野を広げておきましょう。スタートが12月にずれたことで、10月からの2カ月間の時間の使い方が極めて重要になります。始まってからバタバタするのではなく、今のうちからイメージしておくことが、就活を成功させる鍵といえるでしょう。

表2 OB・OG訪問状況

年次	訪問した	訪問していない
2011年卒	35.3%	64.7%
2010年卒	25.6%	74.4%
2009年卒	28.6%	71.4%

年次	訪問した人数
2011年卒	5.5人
2010年卒	4.8人
2009年卒	4.5人

表1 エントリー平均社数

年次	平均社数
2011年卒	95.6社
2010年卒	74.5社
2009年卒	68.0社



PROFILE

玉造 剛
 ブンナビ編集長。採用コンサルタントとして、採用計画立案から面接官のトレーニングまで、数多くの企業の新卒採用にもかかわる。
 ブンナビ
<http://bunnabi.jp/>

ジャパントイムズの本

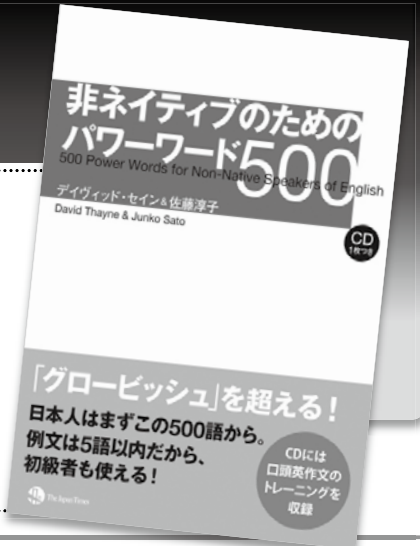
新刊

非ネイティブのための パワーワード 500

CD1枚付

デイヴィッド・セイン & 佐藤淳子 著
 定価 1,680円(税込)

「グロービッシュ」を超える究極の500語を厳選収録。知っている単語が少なくても、1語1語を使いこなせば、どんどん話せる。例文は5語以内なので初級者も使える。



好評
既刊

ビジネスQuick English オフィス英語

All in One



小坂貴志 / ヒース・ローズ 著
 CD1枚付 定価 1,785円(税込)

オフィスで直ぐに使える英語表現をこの1冊で網羅。巻末には日本語から探せるINDEX付き。

「自学自動」の教育方針で 積極的な国際交流

日本女子大学

1901年（明治34年）に設立、当時から学生を積極的に海外に送り出していた日本女子大学。今年創立110周年を迎え、在学中の留学を奨励すると同時に、アジアの女子教育支援にも積極的に携わっている。蟻川芳子理事長・学長に、その独自の取り組みについてうかがった。

世界各国の名門大学と提携

明治時代、アメリカ留学から帰国した教育家・成瀬仁蔵が創立し、第一回生からアメリカ留学に送り出していたという日本女子大学。その歴史と伝統を生かし、現在、アメリカの名門女子大学ウェルズリー・カレッジなど、各国の優良大学と協定を結んでいる。蟻川芳子理事長・学長は、そういった協定大学との連携を生かし、「在学中に一度は海外を経験してほしい」と語っている。

「就職活動が3年次の後半から始まってしまうことから、学生の間では、長期の留学を行うと、就職活動に乗り遅れてしまうのではという懸念があるようです。しかし、そういった事情さえなければ、



日本女子大学で化学を学んだ科学者でもある蟻川芳子理事長・学長

一度外国で学んでみたいと考えている学生は多いはずだ」

日本女子大学では、協定大学やあらかじめ認定された大学へ留学する場合、休学扱いとせず、1年まで修業年限に算入するという制度を設けている。卒業が1年遅れて就職に不利になるという心配がなく、海外で学ぶことができるのだ。また、今年度から、アメリカ・カナダ・イギリス・オーストラリア・韓国・中国の協定大学への留学を選んだ場合、留学先の大学への授業料を奨学金として支給する制度を開始。学生たちは、日本女子大学への授業料と渡航費、個人の生活費用を負担するだけで、留学を実現させることが可能になった。

「社会状況が厳しくなる中、経済的な理由だけで留学をあきらめてしまうことがないよう、学生を支援していきたいと考えています。アメリカ、イギリスだけでなくオーストラリアや韓国の大学に留学する学生も毎年おられますし、これからもっと人数が増えてくれることを期待しています」

8月、9月には、留学の際に英語力を

証明できる英語能力運用試験「IELTS（アイエルツ）」をキャンパス内で実施。ここで得られたスコアを、協定大学留学に活用できるようになっている。

海外の女子学生を受け入れ

海外の大学との結びつきが強いことから、常に一定数の外国人留学生がいることも、同大の特徴だ。特に韓国に関しては、創立間もないころから留学生を受け入れており、その伝統が今も受け継がれている。

「中国や韓国などアジアの学生が多く、また日本人の学生と同等の条件で学ぶ正規生が常に一定以上いるのが特徴です。現時点では、大学・大学院合わせて約40人の外国人学生が、正規生として学んでいます」

留学生向けの入学試験に日本語だけでなく英語も課すなど、入学条件は決してやさしいものではないが、その分、質の高い学生が集まってくるそうだ。「普段は日本人の学生とまったく同じように行動していて、見ただけでは区別がつかないくらいキャンパスになじんでいます。ただし、希望する新入生には1対1のチューター（学生アドバイザー）をつけています。また、毎年留学生向けの懇談会を開き、優秀な成績を収めている学生に賞を与えたり、全員に奨学金を支給するといったイベントを行っています」

留学生への配慮が行き届いていることから、留学生の間では「日本女子大学は温かい大学」と留学生仲間で話題になることもあるようだ。

一方で、アフガニスタンやサウジアラビアへの女子教育支援、アジアの家庭科教育への協力といった海外教育支援のプロジェクトが進められており、文部科学省による「大学教育の国際化推進プログラム（戦略的国際連携支援）」に、「アジアの女性高等教育とエンパワーメント」の取り組みとして採択された。

「アフガニスタンやサウジアラビアなどはイスラム教を信仰する国ですが、私どもの大学は特定の宗教の影響がないことが、支援を受け入れやすい理由の一つだと思われます。また、イスラムでは男女別学を基本とするので、女子学生にとっては、日本の女子大学は留学しやすい場所だと言えるのです」

アフガニスタンからの留学生が博士の



110年の伝統を持つ目白キャンパス。神奈川県川崎市多摩区には西生田キャンパスがある

学位を取得して帰国し、カブール大学教授として活躍、東京で開催された国際シンポジウムに来日し、蟻川学長と再会したということもあったそうだ。

留学生歓迎のイベントを自主企画

留学しやすい環境が生まれているのは、外国人と積極的に交流しようという日本人学生の姿勢によるところも大きい。

「留学生を支援するイベントや、海外の国際会議で発表を行うような機会には、すぐに参加者が集まります。希望者が多すぎて、選ぶのに苦労することがあるくらいです」

昨年夏、カリフォルニア大学の学生を招いて日本語集中講座を開講した際には、日本文化紹介や東京案内のイベントを学生自身が企画し、英語でプレゼンテーションを行った。盆踊りを踊ったりうちわを作ったり、また明治神宮や国会議事堂に連れていったりと、思い思いの工夫が行われたそうだ。

また、海外での国際シンポジウムでの発表には、大学が旅費全額を支援するので、大学院生はもちろん、学部生も盛んに参加している。

国際交流の場で積極的に活動できる理由として、学生一人ひとりの高い英語力もある。

「創立者・成瀬仁蔵に『実用英語を教えるべし』という理念があり、明治の創立当初から英語教育には力を入れてきました。今も学生は、英語には常に高い関心を持っています。キャンパス内にある生涯学習センターではさまざまな英会話の講座を設けていますが、大学の授業とはまた別に、自発的に通っている学生も多いようです」

生涯学習センターは一般の受講生と日本女子大学の学生が同時に学ぶことができる施設だが、学生たちは「毎日学ぶ課外英会話」の講座で毎日1時間ネイティブの講師と話することができる機会を得ているようだ。「創立者が掲げた教育方針の一つに、『自学自動』があります。これは、『自ら進んで学び、自ら行動する』ということで、注入式を基本とする一般の日本の教育とは、大きく異なっています。その創立当初の精神が、今も私たちの間で生きているのだと言えますね」



文京区指定有形文化財第一号の「成瀬記念講堂」。内部のスタンドグラスは関東大震災も免れた

日本女子大学

アメリカで女子教育の研究を行った教育家・成瀬仁蔵が1901年にわが国で最初の組織的な女子高等教育機関として創設。戦前にアメリカに留学した農学者の丹下ウメ、女性解放運動に尽力した思想家、平塚らいてうなど数々の著名人を輩出。「家政学部」「文学部」「人間社会学部」「理学部」を持ち、アジアの女子教育の支援活動なども積極的に展開。就職希望者の就職決定率96.6%（2010年度）という安定した高い就職率でも知られている。

IELTS

スピーキング対策のコツ

British Council 流

IELTS 対策コラム

第3回

by Alan Milby (British Council 専任講師)

IELTS テストを受ける際のコツを伝授する本コラム。第3回はスピーキングテストです。その概要をサンプル問題とともに解説していきたいと思ひます。

サンプル問題

Part 1 で想定される質問 (サンプルトピックス: 自分の町)

※以下は話題が受験者の住んでいる町に及んだときの想定質問です。

- Can you describe your town or village to me?
- What jobs do people in your town do?
- What things are there to do in your town in your free time?
- What do you like about your town?
- How has your town changed over the last twenty years?
- あなたの住んでいる町あるいは村について教えてください
- あなたの町の人々はどのような仕事をしているのでしょうか
- 時間があるとき、あなたの町ではどんなことをしますか
- その町のどんなところが好きですか
- 過去20年間であなたの町はどのように変わりましたか

Part 2 で想定される質問 (サンプルトピックス: 美しい場所)

※試験官は task card を受験者に渡した上で、次のようなことを伝えてきます。

Take one minute to prepare a talk on the following subject. Take notes if you like and remember to include reasons and examples. You should then speak for between one and two minutes.

Describe a beautiful place to visit in your country
You should say:
where it is
how to get there
what there is to do when you are there and explain why you would recommend this place.

カードに書かれている課題 (トピックス) についてのプレゼンテーションを行う準備を1分間で行ってください。メモを取っても構いません。その際、回答内容の理由や例示などもできるように準備してください。準備が終わったら、1、2分かけて話してください

あなたの国で訪れるべき美しい場所について話してください。
その際、以下の点に触れてください:
その場所はどこにあるのか。
どうすればたどり着けるか。
そこに着いたら、何が出来るか。
なぜ、あなたはこの場所を勧めるのか。

Part 3 で想定される質問 (サンプルトピックス: 家族)

本番では Part 2 の流れで関連する質問がなされますが、以下は家族という話題で質問が進んだ場合の想定質問です。

- In what ways have families in your country changed in recent years?
- Should husbands and wives have different roles within the family?
- Which are more important to you: your family or your friends?
- What conflicts can arise between a person's family and a person's friends?
- What responsibilities do parents have towards their children?
- And what responsibilities do children have towards their parents?
- ここ数年であなたの国での家族にどのような変化が見られますか
- 家庭において、夫と妻はそれぞれ異なる役割があると思いますか
- 家族と友達、あなたにとってより重要なのはどちらですか
- あなたの家族と友達の間で起こりうる問題はどんなものがありますか
- 親は子どもに対してどのような責任があるのでしょうか
- 子どもは親に対してどのような責任があるのでしょうか

今回はスピーキングテストの対策についてご紹介しましょう。スピーキングテストは「Part 1」「Part 2」「Part 3」と3つのパートに分かれており、それぞれのパートは毎回同じパターンで出題されます。全体の制限時間は15分です。では、パートごとにパターンを分析してみましょう。

Part 1

まず「Part 1」では、日常の話題や出来事などについての意見や、それを伝えることのできるコミュニケーション能力を見られます。まず、試験官が自己紹介をした後、受験者のパスポートを参照しながら身分確認をします。パスポートを忘れるとスピーキングテストは受験できませんので注意しましょう。身分確認の後、試験官からは家族、仕事、勉強、興味などについていくつか質問されます。「Part 1」にかけるべき時間は4、5分ですが、できるだけ多くの情報を伝えるように意識しましょう。短い回答ばかりになってしまうと、試験官は受験者の能力を正しく評価することができません。

Part 2

「Part 2」は与えられた課題に対して、どれだけ長く話す能力があるかを見られます。しばしば「独演」とも言われるパートです。課題が書かれたカード (task card) を渡され、そのカードに書いてある内容について2分以内でスピーチするというテストです。スピーチの前には1分間の準備時間があり、メモを取るための鉛筆と紙も与えられます。

回答する際には気をつけるべきポイントがいくつかあります。まず、準備時間中に自分の考えをメモすること。これは、自分の考えを整理することになるので、2分間スピーチするには必要な作業です。スピーチ中は試験官の返事や手助けはありません。持てる力をすべて出してスピーチしましょう。スピーチ後は、試験官からスピーチについていくつ

か質問されます。繰り返しになりますが、これに対しても可能な限り多くの情報を伝えるように意識しましょう。自分の経験を踏まえ、適切な言葉と一貫性を意識しながら答えることが必要になります。

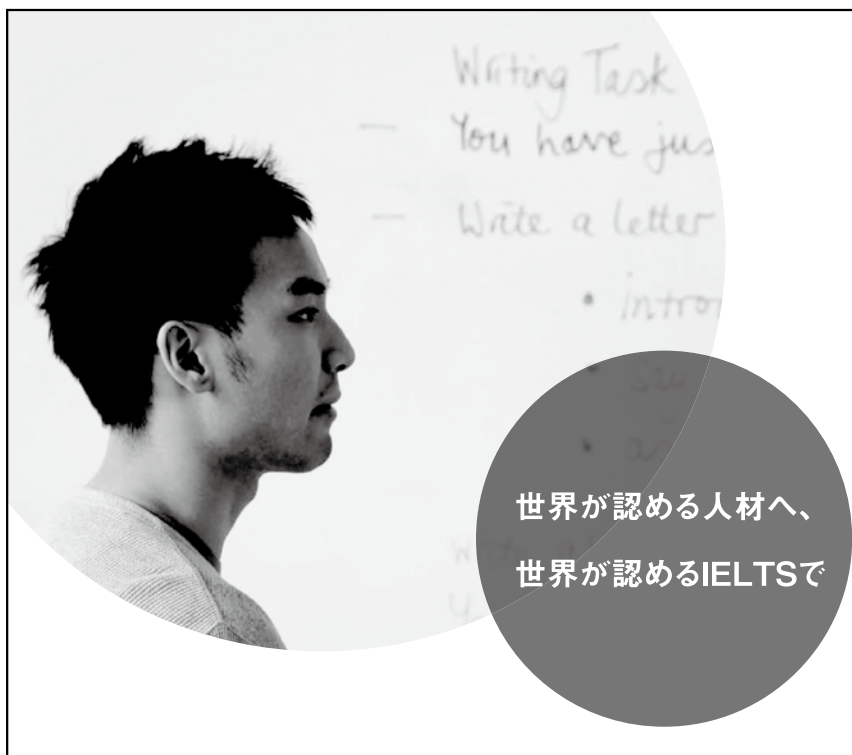
Part 3

「Part 3」は、試験官と受験者が「Part 2」のテーマについて、さらに深く話し合うパートです。制限時間は4、5分です。試験官からの質問もより掘り下げたものになりますので、話し合うテーマについての意見も、自分の言葉で表現し、正当化するだけでなく、分析や議論、推測することを求められます。受験者にとってはよりコミュニケーション能力を試される場となるでしょう。「Part 2」に引き続き、できるだけ積極的に長く、そして全力で回答しましょう。

試験中、試験官は大きなフォルダーを前に、それを参照しながら質問します。少し圧迫感を感じることもあるかもしれませんが、フォルダーはあくまで試験官がテストの一貫性を保つためにあるだけのものです。あまり気にしないようにしましょう。

さて、最後になりますが、いくつかアドバイスがあります。まずリラックスすることです。スピーキングテストを受ける方は、往々にして不慣れた試験場の雰囲気やストレスを覚え、緊張してしまいます。口で言うほど簡単なことではないですが、リラックスする方が有利なことには間違いありませんので、できるだけそれを心がけましょう。また、回答をする際には、発音やボキャブラリーの多様さ、正確性や流ちょうさ、そして一貫性などに注意を払いましょう。もし自分が回答している際に時制の誤りなどの間違いを犯したことに気付いたら、そのまま続けるのではなく、訂正した方がよいでしょう。質問を理解できなかった場合でも、躊躇せずに繰り返してもらいましょう。

皆さんの検討を祈ります!



世界が認める人材へ、
世界が認めるIELTSで

The test that opens doors around the world

- IELTS (アイエルツ・International English Language Testing System) は英語圏への留学や、移住を志す人のための英語運用能力試験
- 信頼性、公平性の高さからイギリス、オーストラリア、アメリカ、カナダ等の135の国と地域・6000以上の大学・政府機関・多国籍企業で採用、全世界で年間150万人が受験
- 日本では、東京、横浜、名古屋、京都、大阪、神戸、広島、福岡、札幌、仙台、新潟、金沢で開催。日本英語検定協会とブリティッシュ・カウンシルの共同運営により利便性が向上
- ペーパーベースで筆記は記述中心、スピーキング試験はネイティブスピーカーの試験官との1対1の面接形式
- 生きた英語を学び取れる、実際の場面に即した出題形式
- ブリティッシュ・カウンシルではIELTS試験対策コースを東京・横浜で開講 www.britishcouncil.or.jp

お問い合わせ・受験申し込みは(財)日本英語検定協会IELTS事務所まで www.eiken.or.jp/ielts

IELTS™

BRITISH COUNCIL

財団法人 日本英語検定協会

(財)日本英語検定協会とブリティッシュ・カウンシルは、日本のIELTSを共同運営しています。

This month's selection from The Japan Times

Volunteering in Tohoku with three teenagers

Minoru Matsutani
STAFF WRITER

Many people want to go to the Tohoku region to help in the colossal cleanup following the magnitude 9.0 Great East Japan Earthquake on March 11 and the resulting tsunami that hit some 400 km of the coastline.

I was one of those people, but I also wondered if there was more I could do. So I decided to take my 13-year-old son, Alex, and some of his friends of the same age from Yokohama International School to volunteer there along with me.

As the school's year ended on June 17, we resolved to set off for a few days' work in Tohoku the following Monday, June 20. However, it turned out to be not quite so easy because, due to safety concerns, volunteer organizations such as Peace Boat do not accept minors. Thus I had to organize the trip myself, which involved calling at least 12 volunteer centers in tsunami-hit municipalities in Iwate, Miyagi, Fukushima and Ibaraki prefectures.

Of those, only four said they would allow 13-year-olds to volunteer. Of the four, Higashimatsushima, Miyagi Prefecture, was the only place more than 80 km from the Fukushima No. 1 nuclear power plant. That 80 km was central to the whole enterprise because it was easier to get approval from my wife and the parents of Alex's friends if we followed the U.S. government's recommendation that its citizens should get no closer than that to Tokyo Electric Power Co.'s radiation-leaking plant.

The day before our departure, one of Alex's friends, Shuwan Hanna, came to our house to sleep over. It was obvious then how excited the boys were to be making the trip. So at 6 o'clock the next morning we hit the road in high spirits in a car I'd rented, picking up another of the boys' friends, Ben Perkins, soon after.

About five hours later we arrived at Higashimatsushima and by 11:45 a.m. it was already nearing 30 degrees Celsius as we entered the Higashimatsushima Volunteer Center. There were no other young teenage volunteers there for the three days from June 20.

As we soon found out, the way centers like this operate is that the volunteers running them receive job requests from local people, such as removing mud from inside houses, shops and apartments that were

swamped in the tsunami. They then allocate such jobs to other volunteers who come to the centers, though they are at pains to point out that no center can guarantee there will be work for every volunteer every day.

The Higashimatsushima Volunteer Center divides a day into morning and afternoon sessions, each two hours long. Morning volunteer registration must be done between 8:30 a.m. and 9:30 a.m., and afternoon registration between 12:30 p.m. and 1:30 p.m. A bit strangely, the center officials tend to be strict about the two-hour rule even though most volunteers seemed to want to work longer to make sure they did their jobs as well as possible.

Though the center was happy to supply volunteers with masks, we had brought our own, along with the rubber gloves, goggles, long trousers and long-sleeve shirts needed when removing mud or doing other cleaning work.

For our first work session, on the afternoon of the day we arrived, the four of us went with two men to a house where the family living there had already taken up wooden floorboards, ready for us to remove the oceanic mud beneath. It was quite hard work as we knelt on the exposed wooden joists and leaned down to wield our shovels. The mud was about 3 cm thick and sticky like cheesecake. It smelled like a sewer, but fortunately, it was easy to scoop up and didn't slide off our shovels.

I watched the three kids carefully on the first day in case they got tired or sick from the dust, but I realized I didn't have to worry about that. They knew as well as anyone how to ask for a break or a sip of water.

"It feels good to help people," Shuwan said after the first day's work was over and we waited for someone from the volunteer center to pick us up and drive us back there around 3:30 p.m.

Then I drove with the boys to a coastal area of Higashimatsushima because I felt they should see for themselves, rather than just on television, the scale of the devastation. What we beheld there looked like a vast plain with wooden debris scattered everywhere — and it was like that as we turned around full circle.

The boys exclaimed, "Wow!" but otherwise they seemed almost lost for words. They took photos. In another area along the coast, there were mountains of neatly sorted debris



New arrivals: Ben Perkins (left), Shuwan Hanna (center) and Alex Matsutani at the Higashimatsushima Volunteer Center in Miyagi Prefecture on June 20. MINORU MATSUTANI

about 10 meters high.

Then I drove to Sendai, the capital of Miyagi Prefecture, where I'd reserved a hotel room because I hadn't been able to get one in Higashimatsushima.

The next morning, we woke up at six and were soon off on the hourlong ride back to Higashimatsushima, where center officials took us four and 11 others to someone's house, where we were again tasked with removing mud from under the floorboards.

In the afternoon, the four of us and three others were taken to a auto repair company. I became the leader of the seven-member team for what turned out to be our toughest job in Higashimatsushima — carrying furniture out of an office, washing the floor, then sweeping dry mud off the floor of a garage with stiff brushes.

As we finished work, I spoke with the company owner, Masahiko Oka, who somehow stayed calm as he said, "Equipment worth about ¥100 million got washed away or destroyed by the tsunami. I also have an employee missing and I had to let go of the remaining 15 staff."

He called on the government to swiftly help small companies in Tohoku so that the employment situation can be improved and the economy revived.

When I got back to the volunteer center, I told officials there that there was still a lot of work to be done at Oka's place, and that they could even send 20 volunteers there without a single one of them standing idle. As part of my hopefully constructive feedback, I also told them that I and many others had been bored at the morning volunteer site because there were too few jobs for 15 people.

On the morning of our third and final day, it was blazing hot and the four of us, along with two women and

another man, must have lost buckets of sweat as we cleared mud out of a drainage ditch. The people living in a house by the ditch said it smelled really bad, though I have to say I didn't think so, but then, I wasn't living next to it.

The boys had wanted me to be a leader, so that's what I was for the whole day as we spent the morning mucking out the ditch then levering up drain covers with crowbars and scooping out the sludge underneath before putting them back.

By now, it looked like the boys had got used to the hard toil of scooping out and bagging up mud. They worked hard and well all morning.

In the afternoon, we were in a group of 12 people tasked with removing mud from the garden of someone's house. Just for a change, this mud smelled like gasoline, not, thankfully, a sewer.

So it was that our volunteering stint came to an end as we returned to the center after what the boys said had been their favorite day, both because they felt they had gotten a lot of work done and because they had been given ice cream in the morning by the person who had requested the ditch-cleaning to be done.

Looking back, the boys may have goofed around on the first day, but they began working much more and chit-chatting less on the second and third days. In fact, on those days, their work contribution was probably the same as an adult's.

To make a great shared experience even better, in the car on our way home, the boys all told me they wanted to volunteer again in Tohoku. Later, the boys' mothers sent me thank-you emails that talked about their sons' enjoyment and how much they wanted to go back to Tohoku as volunteers. These are feelings I share as I am planning to go back, too.